

岡崎市子ども会球技大会申し合わせ事項 (ソフトボールの部) (平成 26 年度)

1. チーム編成について

- (1) 選手は小学生とし、当年度当初の予選出場チームの所属を変更することはできない。
- (2) 編成は選手 15 名以内、監督 1 名、コーチ 2 名以内とし、総計 18 名以内とする。
- (3) コーチは中学生以上、監督は 20 歳以上の育成者でなければならない。
- (4) チーム編成に不正があったと認められた場合は、そのチームの出場を停止する。
また、不正が判明し、そのチームが優勝もしくは準優勝していた場合は、その入賞を取消し、次の順位ของทีมを繰り上げ入賞とする。

2. 出場チームについて

- (1) 各ブロック 1 チームとし大会前にメンバー表を本会に提出すること。
- (2) 原則的として抽選会後の選手の変更は認めない。
- (3) 大会に出場するチームは、その所属するブロックで優勝もしくは協議のうえ、推薦されたチームとする。

3. 試合について

- (1) 試合回数は 5 回とし、50 分を越えて新しいイニングに入らない。
- (2) 3 回以降 10 点以上の得点差がついた場合はコールドゲームとする。
- (3) 5 回を終了後、同点の場合は次による。
 - ・50 分を超えていない場合は、延長戦を行う。ただし 50 分を超過したイニング終了、あるいは 7 回を終了した時点で同点の場合はタイブレーカーを行う。
 - ・50 分を越えている場合は、延長戦としてただちにタイブレーカーにより勝負を決定する。
(岡崎市子ども会でのタイブレーカーとは、無死走者満塁を設定して試合を継続する方法である。)

4. ルールについて

- (1) 塁間は、16.76m、投本間は、10.67mとする。
- (2) 指名選手 (DP/DEPO) 制度および故意四球は採用しない。
- (3) 申し合わせ事項および岡子連発行ソフトボール規則以外のその他のルールについては、オフィシャルソフトボールルール(各年度)を準用する。

5. 運営について

- (1) ベンチはトーナメント表の若番を一塁側とする。
- (2) ベンチにはメンバー表に登録されていない者は入ってはならない。ただし、世話係 2 名が後方に控えることができる。
- (3) 試合開始予定時刻 10 分前までに集合していないチームは、棄権とみなし相手チームの不戦勝とする場合がある。
- (4) 打順表(オーダー表)は試合開始前に当該試合の球審に提出すること。
- (5) 監督は選手交代・打ち合わせ・抗議等必要な時以外はベンチを離れてはいけない。
- (6) コーチャーズ・ボックスには選手以外の者は入れない。
- (7) 審判員に対するヤジは厳重に取締まり、審判員に対するヤジがあった場合はそれを行ったチームの負けとすることがある。

6. 服装および道具について

- (1) 服装はチーム揃いで、子ども会らしい物ならよい、監督・コーチについても運動の出来る服装とし、サンダルや半ズボン禁止とする。
- (2) 靴は金属製スパイクのついたものは禁止とする。
- (3) 打者・走者・次打者・コーチャーズボックス内の選手は必ずヘルメットを着用すること。
捕手はスロートガード付きマスク、ヘルメット、プロテクター、膝当て付きレガースを着用すること。
- (4) ヘルメット(守備者を除く)は両耳あて(ダブルイヤー・フラップ)のあるものを使用すること。
- (5) ユニホームのゼッケンは、背中の見やすい位置に 15 cm 四方程度のものを危険のないように固定する。
- (6) ボールは日本ソフトボール協会認定の 2 号球、バットは 1 号あるいは 2 号バットで、JSA 検定マーク付きのものを使用すること。また、安全グリップは、滑らないテープでバットの号数に合わせた規定長さに巻かなければならない。
- (7) 危険防止のため、試合中の選手は腕時計・ブレスレット・ネックレス・イヤリング等その他危険と思われるものを着用してはいけない。

7. 審判員について

- (1) 主審は岡崎ソフトボール協会に依頼する。
- (2) 塁審は各ブロックより推薦して充てる、運動の出来る服装で、運動靴・帽子を着用する。
(サンダル・ツッカケ等は禁止、またサングラスも禁止とする。)

8. 応援について

- (1) 子ども会にふさわしい応援とし、鳴り物は使用しない。
- (2) 世話係・選手の親及び関係する応援者はプレー中の選手に対する、罵声、怒号やヤジは禁止とする。また、物を投げてはいけない。
- (3) 競技場(フェンス内)への立入は禁止する。

9. その他

- (1) 本大会の運営・進行は、子ども会の良識をもって対処する。
- (2) ベンチは既設のものを使用し、椅子・パラソル等の持ち込みはしない。
- (3) この申し合わせ事項は、学区およびブロック大会にも準用する。
ただし、グラウンドルールを設定する場合は大会役員・世話係・チームの監督・コーチ及び、審判と協議の上、採用することができる。